

大阪駅南側「梅田繊維街」

写真は毎日新聞 1 月 21 日朝刊「れとろ探訪」。「雑然とした中で、狭い道に自転車とオート三輪が通り、かん高い呼び声が響く梅田繊維街＝1961 年 1 月 20 日撮影」。

大阪で 1、2 を争う繁華街の JR 大阪駅の南側は、明治時代の初めまでは田んぼが広がるさみしい土地だった。1874(明治 7)年に大阪駅が造られたのも家屋が少ないことも理由の一つだったという。この頃は大阪市でもなく、西成区曾根崎村の一部だった。鉄道が発達し、駅がにぎわうと大阪駅前も変化して



いった。飲食店や旅館が次々と建てられ、繁華街として発展していった。昭和になると再開発され、百貨店も開業して木造家屋だけでなく鉄筋コンクリートの建物が増えていった。大きな打撃を与えたのが大阪大空襲だった。45(昭和 20)年 6 月の空襲は大阪駅南側の木造家屋が並ぶ区域を焼け野原にした。戦後は闇市が建ち並んだが、やがて梅田繊維街という卸問屋街ができた。

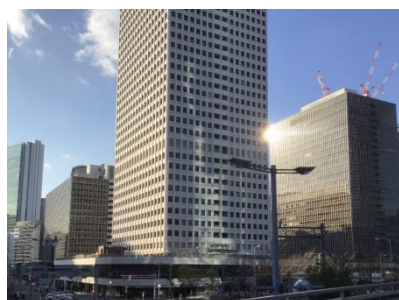
写真は 61(昭和 36)年 1 月に撮影された梅田繊維街の様子。雑然としているが、活力あふれる下町のイメージが感じられる。

現在は繊維街も移転し、高層ビルが並ぶ近代的な地区になっている。百数十年の間、くるくると変貌した街だ。

なんだか懐かしい写真だ。こんな風景をどこかで見た記憶がある。現在の JR 岐阜駅前の繊維街だ。名古屋か高山に住んでいた頃、母と岐阜駅前繊維街に買い物に来たことをかすかに覚えている。

写真下は、大阪駅南の高層ビル街である。梅田繊維街があった近くだと思う。先日、大阪市役所の帰りに梅田新道の歩道橋上から撮った。

右から大阪駅前第 4 ビル、第 3 ビル、第 2 ビル、見えにくい第 1 ビルが並んでいる。梅田繊維街跡に建てられた大阪駅前ビルは、大阪市都市開発局の大阪駅前再開発事業による。第 1 ビルが 1970 年、第 2 ビルが 76 年、第 3 ビルが 79 年、第 4 ビルが 81 年に完成した。第 1 ビル完成から半世紀が経つ。



駅前ビルにはオフィスだけでなく、文化教育施設や地方団体関係など多様な施設がある。4 つのビルは地下でつながり、そこには飲食店や居酒屋、パチンコ、金券ショップなどが並んでいる。人通りも多く、大阪を感じさせる地下街である。

(2021 年 2 月 1 日)